

テーマ

# 知識創造企業と新しい企業 レポーティングのあり方

適用  
分野

財務会計論、監査論

研究  
名称

持続可能な価値創造と企業レポーティング  
(Sustainable Value Creation and Corporate Reporting)

氏名  
所属

池田公司 教授  
経営学部 経営学科

内容

●**特徴**：リーマンショック以降、短期的な利益の追求ではなく、中長期的な観点に立った「持続可能な価値創造」(sustainable value creation)が企業に求められるようになってきています。例えば自動車産業であれば、電気自動車(electronic vehicle; EV)や完全自動化運転の実用化に向けて、企業が具体的にどのような取り組みを行っているかについて投資家等のステークホルダーに分かりやすく説明しなければなりません。

●**研究内容**：企業が、このような説明責任(アカウンタビリティ)を果たすためには、売上高のような「財務情報」の開示のみでは不十分であり、中長期的に持続可能な価値を生み出す仕組み(ビジネスモデル)や、不祥事を防ぐためのガバナンス体制などの「非財務情報」の開示も必要になります。すなわち、財務情報と非財務情報を統合した新しい企業レポーティング(corporate reporting)のあり方が求められるようになってきています。こうしたことから、2013年12月に英国のLondonに本部を置く「国際統合報告評議会」(International Integrated Reporting Council; IIRC)が「国際統合報告フレームワーク

Version 1.0」を公表しており、我が国の上場企業においても2019年現在で約500社程度が統合報告への取り組みを始めております。2015年5月に『統合報告革命ーベスト・プラクティス企業の事例分析ー』(池田公司編著、税務経理協会)を公表し、欧米企業30社の先進的な事例を詳細に分析しました。こうした研究上の関心から、国際会議にも出席し、先端的な情報の収集や、海外の研究者との意見交換にも努めております。写真は、2019年4月25日、香港にてAsian Knowledge and Innovation Forumに参加したときのものです(筆者撮影：C Koji Ikeda 2019)。



キーワード

サステナビリティ、価値創造、イノベーション、企業レポーティング、非財務情報、ガバナンス

連携方法

講演  研修  研究相談  学術調査  コメント  共同研究